



Choose the future in MIYAGI

宮城県の人材確保・育成

宮城県では、県内の情報通信関連産業における人材確保や人材育成に向けて様々な取り組みを行っています。また、行政だけでなく、地域でもデジタル人材育成が盛んに行われています。

宮城県が行っている取り組み

みやぎIT産業認知度向上支援事業

学生に対してIT産業や企業の魅力を伝える取り組みを支援することで、学生の県内IT企業への就業を図っています。

新卒者等未経験者向け基礎研修

県内のIT企業に新たに採用された方に、情報系出身、非情報系出身向けの研修をそれぞれご用意しています。(受講無料)
(内容)IT業界人としてのヒューマンスキル、WEBアプリケーション開発(基礎)等

中堅層向け開発技術スキルアップ研修

中堅層の方のスキルアップにご活用いただける研修をご用意しています。(受講無料)
(内容)WEBアプリケーション開発(応用)、システム開発実践(応用)等

地域高度デジタル人材育成研修

DX推進やデジタルビジネスの創出に関わる方向けの研修をご用意しています。(受講無料)
(内容)高度専門知識・技術研修、DX推進支援等実践研修 等

地域で行われているデジタル人材育成の取り組み

県以外にも、この地域では様々な方が意欲的にデジタル人材の育成に取り組んでいます。

とうほくプロコン

① 全ての子ども達にきっかけと可能性を

「誰一人取り残すことなく、楽しいICT 体験を提供する」「宮城や東北からたくさんのクリエイティブな将来人材を育てよう」。ICTを使って身近な地域課題を解決しながら、子ども達の「好き」を育てるのは「とうほくプロコン実行委員会」の皆さんです。

東北在住の小中学生を対象としたプログラミングコンテスト「とうほくプロコン」の前身である「みやぎプロコン」は2019年にスタート。「やってみよう」を合言葉に、コンテストのほか、放課後の教室を利用した「放課後ICT活動」など様々なイベントを展開し、地域全体で子どもたちの可能性をサポートしています。

「ICTを単に学ぶのではなく、活用することで身近な課題を解決しようとするのが重要」「全ての子ども達にきっかけと可能性を与えたい」。そう語るのは、「親方」の名で親しまれている代表の荒木義彦さん。「地域で可能性を広げた子ども達が、やがて地域に戻り、ICT体験の楽しさを伝えていく。そんな循環を目指したいですね。」

子どもと大人が共に成長しながら、宮城県発の新たな人材育成を目指します。

■プロジェクト名:とうほくプロコン

<https://tohoku-procon.jp/>

■運営主体:

とうほくプロコン実行委員会(社団化予定)



ワークショップ



参加者の集合写真

表彰式



たねまきみのるとたねまきみのり

① 出会いと学びと表現の場を

プログラミングを学びたい全ての生徒に、出会いと学びと表現の場を提供したいという思いから、2023年度より活動を始めた宮城県高校プログラミング人材育成プロジェクト「たねまきみのるとたねまきみのり(通称「たねみのり」)」。一風変わったプロジェクト名には、種から芽が出て育つように、高校生たちが将来の選択肢の幅を広げ、これからのDX時代を支える人材に育ってほしいという願いが込められています。

2023年度は宮城県内5つの高校でプログラミング学習の場を提供。「プログラミングは武器。ITの基礎となるものですが、環境に関係なく、自分次第で世の中を変える仕組みを作ることできます。いずれは宮城県内の全ての高校でたねみのりを展開したいですね」と語るのは、プロジェクトを運営する株式会社イトナブの代表取締役・古山隆幸さんです。

ITに興味のある高校生たちが何かを始めようとするとき、「場」と「きっかけ」があれば、未来は拓かれるはず。地域で学んだ若者が地域の産業を支える土壌は、宮城の地でしっかりとつくられています。

■プロジェクト名:

たねまきみのるとたねまきみのり

<https://tanemino.com/>

■運営主体:株式会社イトナブ



石巻ハッカソン



パソコン部での勉強会



プログラミングと出会う場「たねみのり」WEBサイト

みやぎAI部

① 地域の地域による地域のための取り組み

あつ、まだ中身がドロドロだー!! 温かな歓声に包まれながら「ゆでたまごAI実験」に夢中なのは、「みやぎAI部」に参加している高校生たちです。卵を茹でる際の温度変化や時間から、卵の中身の状態をAIで予測しようというものです。

みやぎAI部は、お隣の山形県での「やまがたAI部」の取組を参考に、2023年10月に活動をスタート。地域のデジタル化を推進する上で、すそ野の拡大は急務という思いから、宮城県内の高校生・高専生対象に、オンラインでAIに関する学習を続けてきました。「ゆでたまごAI実験」は、メンバー同士がリアルで顔を揃えての開催となりました。

「大切なのはやってみること、試してみる」と語るのは、みやぎAI部発起人会の竹川隆司さんです。「学ぶことが目的ではなく、テクノロジーを手段として課題を解決していくことが大きな狙いです。AIは、最も社会課題の解決に近いツールの一つ。次世代を担う皆さんにも共に学んでいただきたいながら、地域をもっと元気にしていきたいですね。」

地域の地域による地域のための取り組みとして、みやぎAI部はこれからも進化を続けます。

■プロジェクト名:みやぎAI部

■運営主体:

みやぎAI部発起人会
(宮城県内企業・団体の有志で結成)



参加者の集合写真



教室での受講の様子



実験風景